



初冬期の交通事故防止

えっ!



～4WD車は要注意～

これからの季節は、スリップ事故の発生が予想されます。北海道では、冬道に適しているということで4WD車が多く普及しています。しかし、その性能を過信しているのか、スリップによる事故の多くは4WD車による事故です。車の駆動式の特性をよく理解して、スリップしないための安全運転に心がけましょう。

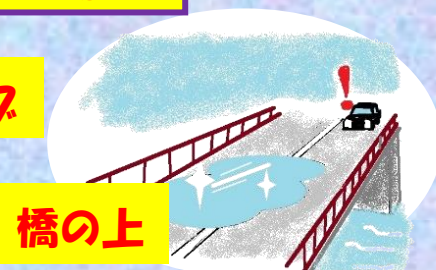
◎駆動式別の特性について

- ★FF（前輪駆動）～カーブを曲がる際に、ハンドルを切ると急に切れ込む可能性あり。
ハンドル操作に気を付ける。
- ★FR/MR（後輪駆動）～滑りやすい路面では、駆動力を伝えるのが難しい。
坂道を上る時には後輪が揺れやすく、下りでは前輪が滑りやすい。
- ★4WD（四輪駆動）～圧雪路の登坂に強い。制動力は2WD車（FF、FR/MR）と大きな違いはない。下り坂での急ブレーキに関しては、2WD車よりも、制動距離が長くなる。

特にスリップしやすい場所



カーブ



橋の上

トンネル出入口



路上駐車はやめましょう！

冬は、積雪のため道路幅が狭くなります。路上駐車をすると、消防車や救急車などの緊急車両が通れなくなりますし、除排雪の邪魔になります。路上駐車は、やめましょう。



冬の交通安全運動

実施運動期間 11月13日（金）～11月22日（日）

- 運動の重点
- 子供・高齢者を始めとする歩行者の安全確保
 - スリップ事故防止と全席シートベルト着用
 - 飲酒運転の根絶



【年間スローガン】 ストップ・ザ・交通事故～ めざせ 安全で安心な 北海道 ～

デイ・ライト運動にご協力を！



飲酒運転の根絶!

お酒の怖さを自覚しよう

少しのお酒でも、運転には大きな影響が

- ★動作が大きくなり、雑になる
アクセル・ブレーキなどの操作が遅れる
- ★体の平衡感覚が狂う（ふらつく）
走行車線をキープできない
- ★集中力がにぶる、視野が狭くなる
信号や標識、歩行者などを見落とす
- ★気が大きくなる(理性・自制心の低下)
飲酒運転でも事故を起こさないだろうと錯覚する



妨害運転(あおり運転)が創設

今年6月に改正道路交通法が施行され、「あおり運転」が妨害目的の運転として規定されました。他の車両等の通行を妨害する目的で、一定の違反行為（下記に記載）をし、

「あおり運転」をする

3年以下の懲役または50万円以下の罰金
～違反点25点で免許取消し（欠格期間2年）

「あおり運転」をし、高速自動車国道等で著しい交通の危険を生じさせる

5年以下の懲役または100万円以下の罰金
～違反点35点で免許取消し（欠格期間3年）

と規定されました。

◎一定の違反行為（10の違反行為）

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 対向車線からの接近や逆走 | 2 不要な急ブレーキ |
| 3 車間距離を詰めて異常接近 | 4 急な進路変更 |
| 5 左からの追い越しや無理な追い越し | 6 ハイビームの執拗な継続 |
| 7 不必要なクラクションの反復 | 8 幅寄せや急な加減速 |
| 9 高速自動車国道の本線車道での低速走行 | |
| 10 高速自動車国道等での駐停車 | |



「あおり運転」にあったら、回避・避難・通報を!

冬のトラブルに備えて

冬道に備え、タイヤ交換をしますが、その際、スタック（立ち往生）や単独事故の時に備え、冬用の装備品を車載しましょう。

- ★身に着ける物～防寒ジャンパー、帽子、手袋、長靴、毛布、使い捨てカイロなど
- ★車の脱出に必要な物～スコップ、滑り止めヘルパー、けん引ロープ、ブースターケーブル、懐中電灯など
- ★その他～軽食、携帯電話の充電器・予備電池、ラジオ、発煙筒など

